

平成29年度学校評価アンケート結果のまとめ

校長 佐伯 英徳

昨年の11月に実施いたしました「学校評価アンケート」の集計結果を報告させていただきます。保護者の皆様には、大変お忙しい中、とても短い期間でお願いしたアンケートではありましたが、全保護者の95.9%（28年度：97.5%）の方々からご回答をいただき、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。集計結果は、生徒・保護者・教職員に対するすべてのアンケート項目を掲載し、「当てはまる」「やや当てはまる」の肯定的な評価の割合を前年比較できるように表記しました。以下にアンケート結果の特徴的な点を述べます。

【肯定的評価が80%を超えた項目】

生徒	保護者	教職員
23項目中17項目(74%)	25項目中16項目(64%)	25項目中23項目(92%)

【昨年度との比較で3ポイント以上上昇した項目】

生徒	保護者	教職員
0項目	0項目	11項目
		No.19「進路指導の推進」 82.6%⇒95.7%：+13.1P

【昨年度より3ポイント以上下降した項目】

生徒	保護者	教職員
8項目	6項目	8項目
No.19「進路学習を通じて生き方を真剣に考える（3年生のみ）」93.9%⇒82.1% ：-11.8P、No.25「二中に入学してよかった」97.9% ⇒85.7%：-12.2P	No.18「道徳や人権について考えるようになる」79.0% ⇒73.1%：-5.9P	No.13「部活動」95.6%⇒ 87.0%：-8.6P

【考察】

全体としては、前年度比+3Pの項目が24項目あった28年度に対して、29年度は11項目でした。また、28年度は指導する教員と指導を受ける生徒との肯定的評価の割合がほぼ一致していましたが、29年度については教員と生徒、保護者の評価に差が見られます。特に、No.7の「家庭学習」、No.19の「進路学習」、No.24の「職場体験・上級学校訪問」が顕著であり、詳細な分析が必要だと考えています。

現在、アンケート結果の各項目の数値や学校関係者評価等をふまえ、今年度の教育活動の成果と課題を明確にした上で、改善策を練り、29年度の教育課程の編成に取り組んでいます。

今後につきましては、「生徒一人一人が目を輝かせ、何事に対しても前向きに活動できる学校」を創造するために、生徒と教職員、保護者と教職員、そして教職員間における信頼関係をこれまで以上に構築し、本校の教育活動のより一層の充実を図ってまいりますので、何とぞよろしくお願いいたします。